

第3期釜石市子ども・子育て支援事業計画(案)にかかる意見募集結果

1. 意見募集結果

提出意見数2人 5件

項目	番号	意見の概要	釜石市の考え方
第3章 計画の基本的な考え方	1 重点施策3	プランの主旨や具現化のための計画、釜石市として求める児童館や学童育成クラブの役割、今後の方向性等について説明いただき共通理解を図ることが重要であり、そのための場の設定をお願いしたい。	<p>この計画を実行するためには、国からの通知をもとに、各児童館や学童育成クラブと連携して事業を推進する必要があります。今年度は、市内の学童育成クラブ担当者を対象とした情報交換会を開催し、改正された放課後児童クラブ運営指針の改正内容や、各学童育成クラブの取り組み状況等について情報の共有を致しました。</p> <p>来年度も引き続きこの情報交換会を開催するとともに、市の方向性等を検討しながら、児童館や各学童育成クラブと情報共有を図り、子どもの居場所づくりを推進してまいります。</p>
第4章 施策の展開	2 基本目標I	アレルギーやアトピーに対する知識をもっと周知してほしい。また、それらに関する講座等があると良いと思います。	<p>新生児訪問や各種健診・講座開催時に、パンフレット等を配布し周知に努めています。さらに、母子手帳アプリ『Hug♡Me(ハグ♡ミー)』やLINE等を活用しながら周知に努めてまいります。</p> <p>また、アレルギーやアトピーに関する講座については、保護者等からのニーズを受けて講座を開催してまいります。</p>
第4章 施策の展開	3 基本目標I	県立釜石病院に医大からの医師がこなくなる診療が増え、市内で診てもらえる診療が減り、身体的にとてもつらいと感じています。長く付き合う事が必要な子供の病気に対して、アトピー・アレルギーの専門的な治療に関しては、盛岡となっています。連携、オンライン診療等へ積極的な政策を願います。	医師不足に伴う診療科の偏在や地域公共交通網の縮小など、地域医療体制の確保が課題となっている中、誰でも安心して医療を受けられる地域を維持・構築するため、「産婦人科・小児科オンライン相談」の本格実施を行うとともに、自宅等で診療を受けることができる「オンライン診療」の検討など、医療関係者及び住民の利便性向上に向け、医療DXに関する理解を深めてまいります。

第4章 施策の展開	基本目標I	4	一時預かりのリアルタイムでの空き状況確認（空いている、混んでいる）が出来るようにしてほしい。	<p>一時預かり事業に関しては、市内の各施設で実施していますが、リアルタイムでの情報を提供するためには、各施設とのシステム等の連携が必要となり、空き状況を情報提供していただく要があります。</p> <p>このことから、各施設との情報の連携及びシステムの導入について、今後検討してまいります。</p>
第4章 施策の展開	基本目標1	5	一時預かりの手続きのデジタル化、園とのオンライン面談など、いつも同じ情報を多くの書類に記入している。情報として一元化できるものを連携できるDX的な取り組みへの政策を園や学校と連携して進めてほしい。アプリが増えるだけで、書類への記入が減らないのが負担でした。	<p>保護者の手続きの負担軽減を図るため、今後オンラインで申請できる仕組みづくりを検討してまいります。また、当市だけではなく、各施設と連携しながら事業の推進を進めてまいります。</p>

2. 意見募集の実施状況

- (1) 意見の募集期間 令和7年2月3日（月）から令和7年3月3日（月）
- (2) 公表方法 計画（案）及び資料を閲覧できるよう、市役所第1庁舎、各地区生活応援センター、市図書館、保健福祉センターに備え付けたほか、市ホームページ及び広報かまいしに掲載しました。